

2012（平成 24）年 7 月 9 日

2012(平成 24)年度 私立短期大学図書館協議会 全国理事会 議事録

日時：2012 年 5 月 17 日（木） 14:00～17:00

会場：東京ガーデンパレス

出席者：21 名（敬称略）

【本部】＜亜細亜大＞毛利和弘、＜千葉経済大＞齊藤誠一、＜大阪大谷大＞前川和子、＜北海道武蔵女子短大＞木村修一、＜カリタス女子短大＞石田孝夫、＜共立女子短大＞久保寿治、＜新潟青陵短大＞高野 聡、＜山野美容芸術短大＞久保田智弘、＜日本体育大＞谷口 豊、＜立教女学院短大＞篠原智子、＜青山学院女子短大＞小林陽子 以上 11 名

【地区】

[北海道] ＜北海道武蔵女子短大＞玉田清市

[東北] ＜八戸大＞磯邊寿子

[関東甲信越] ＜埼玉東萌短大＞片野裕嗣

[東海・北陸] ＜岡崎女子短大＞藤原靖浩

[近畿] ＜京都文教短大＞續木好子、＜大阪信愛女学院短大＞濱岡賢二

[中国・四国] ＜今治明德短大＞西本修文、土岐敦子

[九州] ＜近畿大学九州短大＞緒方章嗣、勝田史郎 以上 10 名

司会・進行：久保（本部事務局）、記録：高野（本部広報）

配布資料：①議事次第、役員名簿、全国『会報』について、出席者名簿 ②各地区報告書、通信等 ③総会資料

1. 会長あいさつ

毛利和弘会長より、「皆様のご協力により、東日本大震災による東北地区の被災 5 館（大規模被災館 2 館、中規模被災館 3 館）に見舞金を渡し協議会として支援ができたこと、また協議会組織の新体制をスタートし無事に 1 年経過することができたことへの感謝と、今年度開催予定である全国研修会に対する協力をお願いしたい。」旨のあいさつがあった。

2. 自己紹介

・出席者 21 名の自己紹介。

3. 各地区事業報告

・北海道から九州の順で、昨年度の地区事業の状況、本年度の会勢と事業計画案が報告された。

#### 4. 総会について

事業報告、決算・監査報告、新役員、事業計画、予算案の確認を行った。

##### (1) 総会議長について

- ・九州地区の緒方章嗣氏にお願いした。

##### (2) 賛助会員について

- ・毛利会長から、加盟館が減少する中で収入を増やすには、賛助会員を増やす以外に方法がないので、各地区でも賛助会員を募ってもらいたいとの協力のお願いがあった。各地区に依頼する時期は、研究誌の編集に合わせて9月くらいとする。
- ・齊藤理事から、賛助会員についてはホームページにバナー広告を貼ることはできないかとの提案があった。毛利会長より、賛助会員の一覧リストは今年度作成したが、リンクについては経費がかかるため今回は見送った。また、ホームページの更新は継続的に費用が発生する場合もあるので、経費を含めて検討する必要があるとのことであった。
- ・前川理事から、個人賛助会員についてはOB・OGに声をかけたいと考えているが、会費10,000円を下げてもらうことができないかとの提案があった。毛利会長より、会費は研究誌の金額相当の5,000円程度として、会費規程を変えることで可能かもしれないとのことであった。
- ・木村理事から、加盟館の退会理由について質問があった。名簿担当の石田理事より、「4年制大学への改組転換」、「館員が少ないので役員が回って来たら対応できない」といったことが主な理由になっているとのことであった。

##### (3) 新役員について

- ・毛利会長の再任と理事（研修担当）として木内公一郎氏が推薦され、承認された。

##### (4) 全国研修会について

- ・近畿地区の濱岡賢二氏より、2012年度全国研修会予告について報告があった。
- ・毛利会長より、各地区の研修については全加盟館での研修内容の共有を目的として研究誌への論稿化をお願いしているので、了承されたら研究誌担当の木村理事に連絡をしていただきたいとのことであった。

##### (5) 決算・予算について

- ・前川理事から、研究誌の平成24年度の予算額が平成23年度の決算額より少ないことについて質問があった。本部会計の久保田氏より、第31号から印刷部数を減らしているため第32号の予算も抑えている。また、第32号は全国研修会の内容が入るのでページ数が増えることが予想されるが、予算を超える部分については、予備費や賛助会員を増やして対応するとのことであった。ホームページの決算・予算額についても同様で、昨年度は賛助会員のページを増やした分が増額されているが、今年度は追加費用が不要となるため、予算が少なくなっているとのことであった。

- ・濱岡氏から、全国理事会の会場等の経費の削減についてと濱岡氏の交通費が本部ではなく近畿地区から支出されていることについて質問があった。毛利会長より、新体制になる前の協議会の慣例を引き継いでいることに起因しているため、総会をする大学で理事会をするなどの選択肢も考えられる。また、濱岡氏の交通費については、地区理事が全国理事会に出席するための交通費を各地区が負担していることに起因し、本来は本部で負担すべきところだったかもしれないとのことであった。

## 5. その他

- ・会費納入について

本部会計の久保田氏より、7月上旬までに会費を納入いただきたいとのお願いがあった。

- ・「会報」について

前川理事から、全国会報の原稿の収録期間が各地区によって若干異なっているため、図書館年鑑の原稿に合わせて統一することと、発行時期・発行回数の見直しについて提案があった。毛利会長より、収録期間を年度単位とし、各地区の理事会資料を原稿として6月に年度報告として全国会報を作成する提案があり、了承された。但し、変更時に空白となってしまう期間については、補足する。

- ・中国・四国地区加盟館の退会への対応について

谷口氏から、中国・四国の会員減の対策について質問があった。毛利会長より、未加盟館に働きかけて組織強化を計るため、短大未加盟館へ協議会の存在とメリットをアピールする文書を作成して7月くらいに発送することを予定しているとのことであった。

- ・加盟館名簿について

石田理事より、本部事務局だけでは校名変更や図書館名の変更を把握することが難しいので、各地区でフォローをお願いしたい。また、昨年度メーリングリストのメールが届いていなかった加盟館があった。メールが届いていないことがわからない場合もあるので、各地区で加盟館にメールが届いているか確認をお願いしたいとのことであった。

※中国・四国地区の土岐氏から愛媛女子短期大学図書館が環太平洋大学短期大学部図書館に変更になったとの報告があった。

以上